

令和4年度 学校運営協議会自己評価

浜松市立井伊谷小学校運営協議会長

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 第1回において、校長から学校の教育目標やめざす子供像についてしっかり説明があり、教育内容及び活動について理解ができた。昨年度と比べると理解が深まったと思う。また、井伊谷小グランドデザインをもとに、井伊谷小の児童をどのように育ていくのかビジョンを共有できた。
- 説明の中で、本校の課題も明確化され、それについても熟議することができた。
- 協議会も2年目となり、互いに忌憚なく意見を出し合うことができたと感じている。
- 学校評価において学校から自己評価結果の説明があり、その受け止めや方策についても話し合うことができたことはよかったが、十分とまでは至らなかった。さらに話し合いを深めたい。

<評価項目2> 学校運営に資する活動について熟議を進めることができたか。

- 子供たちの表れを見てからの話し合いだったので深まったと思う。
- 学校では、多くの外部講師を招き、「本物に触れる」体験を授業に取り入れていてよいと思う。実際に委員も講師を務めており、子供たちの姿から、地域・社会と「ひと、もの、こと」で関わる活動が充実してきている。すでに地域や保護者にも周知が進んでおり、教育活動に参加している現状や成果を見ることができた。まだまだ地域の教育力はあると思われるので、さらに学校運営に必要な支援や人材の発掘、新しい方々の参加を促す方策等について熟議を進めていきたい。

<評価項目3> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- コロナの影響で子供たちの活動が縮小されると心配されたが、様々な面で予防対策を十分にしながら、積極的に活動が進められたことはよかった。来年度は地域の力を活用していくためにどうしたらよいか具体的にその組織や方法を話し合っていきたい。
- 学校運営協議会での協議の結果を一つでも多く井伊谷小の運営のプラスにできるよう、活発な意見交換をしていきたい。
- 地域や保護者には周知が進んでおり、多くの参加もいただいているが、さらに、時代に対応した学校運営に必要な支援を考えたい。
- 地元の農・商・工とつながることで、学校と地域とがつながっていけるよう、協議したい。
- 来年度は任期3年目であるので、協議会としての継承についても考えていきたい。